



第 4 回	<p>テーマ：女性誌が伝えたこと</p> <p>明治末期に創刊された女性誌が与えた影響について解説する。</p>
第 5 回	<p>テーマ：国民総動員と「婦人」</p> <p>戦時下における「婦人」の国家的意味と女性運動の転向について解説する。</p>
第 6 回	<p>テーマ：民法改正の課題と 50 年代の逆コース</p> <p>新憲法に基づく民法改正の婚姻をめぐる課題、及び、1950 年代の逆コースとよばれるジェンダー不平等な制度化の現在に与える影響について解説する。</p>
第 7 回	<p>テーマ：恋愛結婚から専業主婦へというコース</p> <p>戦後の女性の高学歴化をもたらした女子短大の登場、恋愛結婚の大衆化、高度経済成長期に進んだ性別役割分業について解説する。</p>
第 8 回	<p>テーマ：脱専業主婦がもたらすもの</p> <p>性別役割分業社会の終焉と女性が働く意味について解説する。</p>
テキスト	適宜資料を配布
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>斎藤美奈子『モダンガール論』文春文庫、2003 年</p> <p>久留島典子他編著『歴史を読み替える ジェンダーから見た日本史』大月書店、2015 年</p> <p>落合恵美子『21 世紀家族へ（第 3 版）家族の戦後体制の見かた・超え方』有斐閣、2004 年</p> <p>国立歴史民俗博物館監修「性差の日本史」展示プロジェクト編『新書版性差（ジェンダー）の日本史』集英社、2021 年</p>
課題に対するフィードバックの方法	成績発表後に回答例を掲示します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>日本史及び世界史における近現代史を復習してください。</p> <p>試験及びレポートの内容については、授業の中で指示します。</p> <p>明治維新後の近代化の歴史は遠い昔の話ではなく、今なお結婚制度や教育政策、家族政策に影響を与えています。その中であって、どのように主体的な生き方を選び取るか、授業の中で一緒に考えていきましょう。教員の問いに対する回答など授業への積極的な参加についても評価の対象とします。</p>